

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭55-172384

⑮ Int. Cl.³
D 03 D 47/30

識別記号

庁内整理番号
7732-4L

⑯ 公開 昭和55年(1980)12月10日

27894

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑰ 流体噴射式織機における補助ノズル噴射装置

⑱ 実 願 昭54-72531

⑲ 出 願 昭54(1979)5月31日

⑳ 考 案 者 鈴木一
安城市花ノ木町8番地20号

㉑ 考 案 者 荒川浩

刈谷市稲場町1丁目58番地

㉒ 出 願 人 株式会社豊田自動織機製作所
刈谷市豊田町2丁目1番地

㉓ 代 理 人 弁理士 高橋茂助

㉔ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 所定間隔で配置された補助ノズル3の流体噴射により緯糸7の飛走を助成するようにした流体噴射式織機の補助ノズル噴射装置において、上記補助ノズル3に飛走助成機能を有する噴射孔1と飛走安定機能を有する噴射孔2とを設け、両噴射孔1, 2は互いに角度方向にも上下方向にもそれぞれ位相を有していることを特徴とする構造。
- (2) 前記噴射孔1および噴射孔2が緯糸7の飛走方向となす角 α および β がそれぞれ $15^{\circ} \sim 25^{\circ}$ および $30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ であることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の構造。
- (3) 前記補助ノズル3が上部開口型緯糸ガイド10に介在する半開口型緯糸ガイド5に対向して設けられ、かつ上下方向に、前記噴射孔1の間に前記噴射孔2を設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項または第2項記載の構

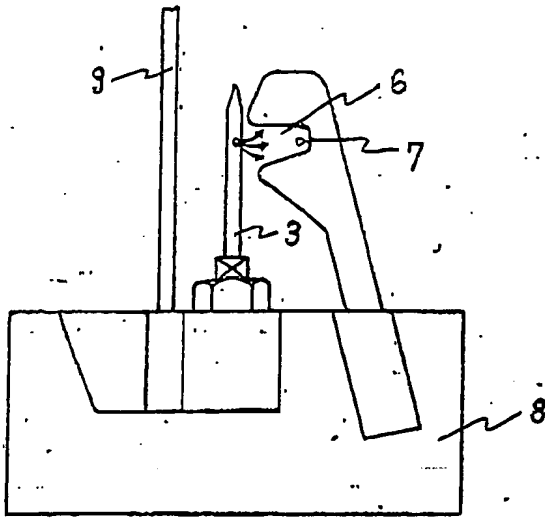
造。

図面の簡単な説明

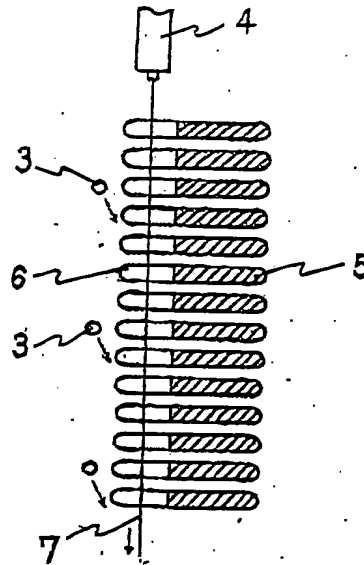
第1図は従来装置の側面図、第2図は要部の平面図、第3図は本考案装置の要部の側面図、第4図は第3図のIV-IVにおける断面図、第5図は補助ノズルの拡大横断面図、第6～8図は他の実施例を示し、第6図は補助ノズルの側面図、第7図は上部開口型緯糸ガイド間に介在させた半開口型緯糸ガイドに補助ノズルを対向させたものの側面図、第8図は第7図の横断面図である。

図において、1は飛走助成機能用の噴射孔、2は飛走安定機能用の噴射孔、3は補助ノズル、4は主ノズル、5は緯糸ガイド、6は緯糸飛走路、7は緯糸、8は筵、10は上部開口型緯糸ガイド、 α は飛走助成機能用の噴射孔が緯糸の飛走方向となす角、 β は飛走安定機能用の噴射孔が緯糸の飛走方向となす角である。

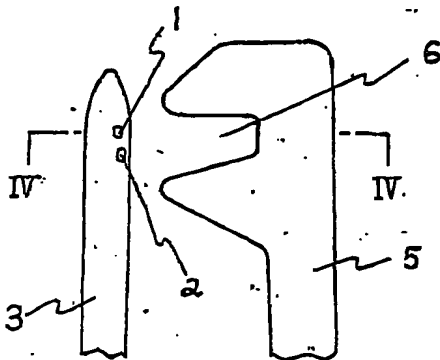
第1図



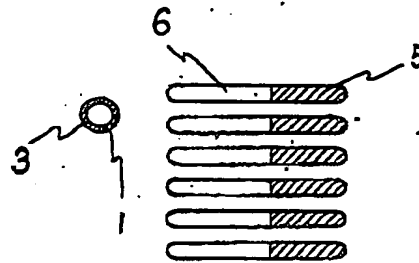
第2図



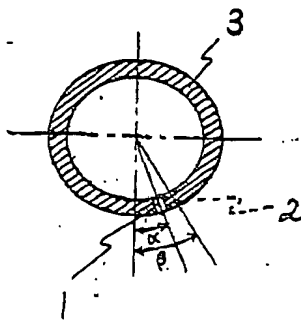
第3図



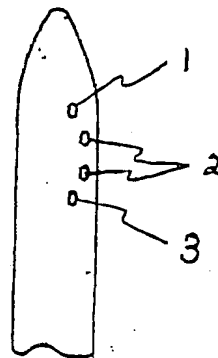
第4図



第5図

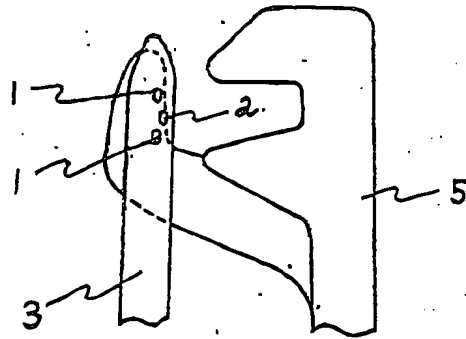


第6図

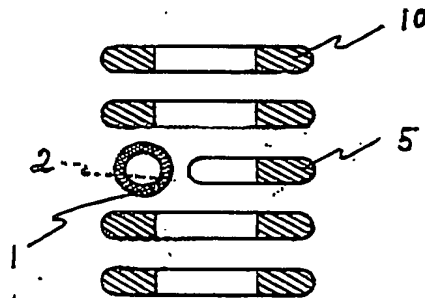


BEST AVAILABLE COPY

第 7 図



第 8 図



BEST AVAILABLE COPY